

公益財団法人 日本測量調査技術協会

『地理情報標準認定資格制度』について

～平成 25 年度 技術者養成講習会及び認定試験のご案内～

1. 『地理情報標準認定資格』とは
2. 資格取得フロー
3. 受験資格及び講習会受講免除
4. 講習会カリキュラム及び試験の構成
5. 資格の登録
6. 資格の登録更新
7. 講習会受講料と受験料と登録料
8. 詳細についての問い合わせ先

1. 『地理情報標準認定資格』とは

【創設の趣旨】

平成 19 年に地理空間情報活用推進基本法が成立し、測量法に基づく測量行為に地理情報標準の活用が推奨され、作業規程の準則においては、地理情報標準に準拠した製品仕様書の作成が義務付けられています。更に行政機関においては、これらデータを活用したソフトウェア開発も行われています。

地理情報標準は、地理空間情報の取得から管理、交換、応用までを網羅する知識の体系であり、地理空間情報高度活用社会を支える土台となります。更に国際標準に準拠したもので、これからの地球規模の地理空間情報の管理や利活用の推進にも不可欠な技術です。このスキルレベルを判断するための資格認定制度の構築が急務です。

こうした観点から、広く地理情報標準を活用して、地理空間情報に関する業務を適切に遂行でき、国際的にも通用する専門技術者を養成すると共に、地理情報標準の知識・技能が一定水準以上であることを認定する本制度を創設致しました。

【創設の目的】

この制度は、地理情報標準の知識・技能を有した、地理空間情報の整備、管理、運用等の専門技術者の資格認定及び登録を行い、もって地理情報標準の適用、普及等の適正な推進を図るとともに、地理空間情報の利活用の促進に寄与することを目的とします。なお、本資格が、効果的に活用されるように、国土地理院の測量技術者の認定資格制度に登録されることを目指します。

【制度の概要】

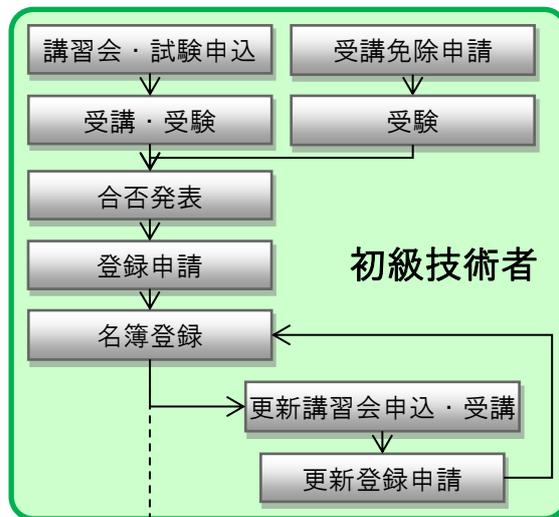
地理情報標準（ISO19100 シリーズ、JIS X 7100 シリーズ及び JPGIS）に関する知識・技能についての講習、及びそれらが一定水準以上であることを試験により認定する制度です。

地理情報システムを構築・運用する「技術者」から地理情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、地理情報システムに関係するすべての人が活用できる制度です。特定の製品やソフトウェアに関する試験ではなく、地理情報標準の背景として知るべき原理や基礎となる技能について、幅広い知識を総合的に評価します。

認定資格は、初級技術者、中級技術者、及び上級技術者に区分されています。各区分の認定要件と知識・技能の水準の範囲を下図に示します。

	<h3>上級技術者</h3> <p>10年以上の実務経験者で、測量士またはIPA情報処理技術者（Lv4以上）または技術士で、且つ中級技術者登録者を、試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準に準拠して、データの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決ができる。 ・地理情報標準に準拠して、データ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築ができる。 ・地理情報標準に準拠して、構築したサービスの安定的な運用ができる。
	<h3>中級技術者</h3> <p>7年以上の実務経験者で、測量士（補）またはIPA情報処理技術者（Lv2以上）または技術士一次試験合格者で、且つ初級技術者登録者を、講習会受講と試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準の技術解説ができ、且つ関連規格の策定ができる。 ・需要者の要求に基づく、地理情報標準準拠の製品仕様書及びデータの作成ができる。 ・需要者の要求に基づく、地理情報標準準拠の応用システムの設計・開発ができる。
	<h3>初級技術者</h3> <p>講習会受講と試験で認定。5年毎の更新講習で能力を維持。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報標準の基礎を理解している。 ・地理情報標準準拠の製品仕様書の内容を理解できる。 ・地理情報標準準拠のデータ及び品質評価の考え方が理解できる。

2. 資格取得フロー



【5月中旬】測技協 HP 等より入手
 【6月上旬～7月中旬】申込 測技協・全測連
 有料セミナー・SIDS・国交大学校の関連研修受講
 者は受講免除の申請可
 【7月25日】1日講習と試験（講習同日）
 全国5会場（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡）

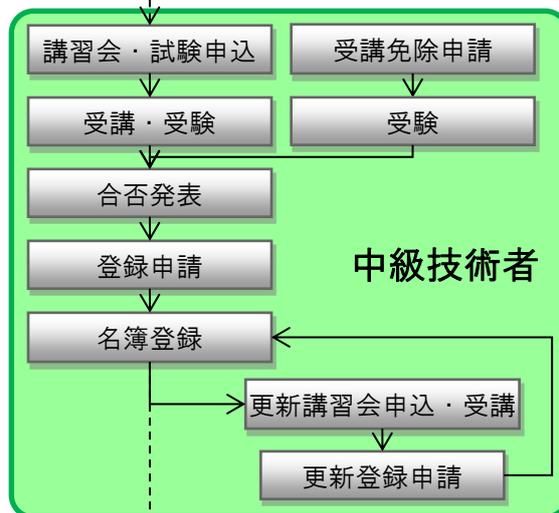
【8月下旬】合否結果通知

登録料を添えて登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に0.5日インターネット講習・
 受講申込・受講

登録料を添えて更新登録申請



【8月初旬】測技協 HP より入手
 【9月初旬～10月初旬】申込 SIDS（中級）・
 国交大学の関連研修（実習含）受講者は受講免
 除の申請可

【10月初旬】3日講習と試験（講習最終日同
 日）・東京会場

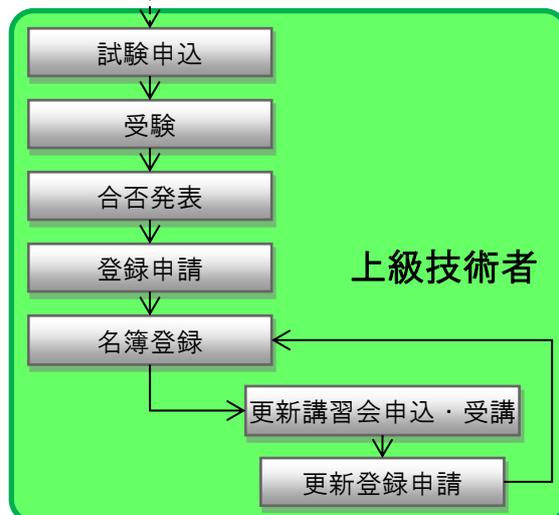
【11月下旬】合否結果通知

登録料を添えて登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に1日講習会・受講申込・受講

登録料を添えて更新登録申請



測技協 HP より願書入手
 *H26年度より実施予定

試験・東京会場

合否結果通知

登録料を添えて登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に1日講習会・受講申込・受講

登録料を添えて更新登録申請

3. 受験資格及び講習会受講免除

【受験資格】

受験資格は、下表のとおり各区分で指定される実務経験年数且つ資格要件によります。

区分	実務経験年数	資格要件（各区分の全ての要件を満たす者）	証明に必要な書類
初級技術者	制限なし	制限なし	なし
中級技術者	7年 (*1) (修士含 *2))	1. 初級技術者認定試験合格者	● 初級技術者登録証書の写し 又は合格証書の写し
		2. 測量士(補)又は情報処理技術者(*3)又は技術士(補)又は技術士一次試験合格者(*4)	● 測量士(補)登録証明又は測量士(補)登録証の写し または ● 情報処理技術者試験合格証書の写し または ● 技術士一次試験合格証の写し又は技術士二次試験合格証の写し又は技術士(補)登録証明書又は技術士(補)登録証の写し
上級技術者	10年 (*1) (修士含 *2))	1. 中級技術者認定試験合格者	● 中級技術者登録証書の写し または合格証書の写し
		2. 測量士又は情報処理技術者(*5)又は技術士(*4)	● 測量士登録証明書又は測量士登録証の写し または ● 情報処理技術者試験合格証書の写し または ● 技術士登録証明書又は技術士登録証の写し

* 受講・受験は一体として扱い、受講のみの申込は受け付けない

*1 指定の様式で地理空間情報に関する業務経歴書の提出による

*2 2年を上限として算入可能

*3 IPA 情報処理技術者試験の基本情報技術者以上の区分（レベル2）

*4 技術部門を問わない

*5 IPA 情報処理技術者試験の高度区分（レベル4）

【講習会受講免除の申請】

下表のとおり指定された講習会のいずれかの受講により、受験資格となっている講習会の受講を免除します。

なお、類似の講習であっても、一定期間が経過しており且つ講習が過去の規格に関するものについては、同等性の観点から指定講習となっていないことを予めご承知ください。

区分	指定講習（各区分のいずれかを満たす者）	申請に必要な書類
初級技術者	当協会及び全国測量設計業協会連合会の有償の地理情報標準の研修会	修了証または写し
	日本測量協会地理空間情報専門技術認定（*1）	合格証または写し
	空間情報デザインスクール（SIDS 初級編・または SIDS 中級編）	修了証または写し
	国土交通大学校の関連研修（*1）	修了証または写し
中級技術者	空間情報デザインスクール（SIDS 中級編）	修了証または写し
	国土交通大学校の関連研修（実習含む）	修了証または写し
上級技術者	なし	なし

* 申込書に当該書類添付することで、受講免除の申請とみなす。

*1 別表 1 に対象となる研修コースを示す。

【書類審査】

申込受付後に、受講・受験、及び受講免除の要件の審査を行います。審査の結果通知後、受講・受験料をお支払い頂きます。

*各会場の定員に達し次第、受付を締め切らせて頂きます。

4. 講習会カリキュラム及び試験の構成

【講習会カリキュラム及び認定試験の構成】

各区分の講習会カリキュラム及び認定試験の構成は下表のとおりです。

初級技術者		
想定する レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準の基礎を理解している。 ● 製品仕様書が要求する地理空間データを想定できる。 ● 地理空間データの品質の考え方を理解している。 ● メタデータの意義を理解し、作成できる。 ● 単純な構造の地理空間データ製品仕様書を理解できる。 	
講習会 カリキュラ ム	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日・4時間＋試験 ● 地理情報標準概要、作成すべきデータの考え方、品質の考え方、品質評価方法、メタデータ及びその作り方、製品仕様書の読み方 	
試験日	講習会同日	
試験科目 【基礎】	試験形式	多肢択一式問題・30問出題 30問解答
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準の基礎に関する知識 ● 作成すべきデータに関する知識 ● 品質評価に関する知識 ● メタデータに関する知識 ● 製品仕様書に関する知識
	試験時間	16時00分～17時30分（90分）

中級技術者		
想定する レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準をよく理解している。 ● 複雑な構造の地理空間データを設計できる。 ● 複雑な構造の製品仕様書を作成できる。 ● 製品仕様書が要求する地理空間データを作成できる。 ● 符号化規則に従い、地理空間データを操作できる。 	
講習会 カリキュラム 【3日間】	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日目・7時間 ● 地理情報標準概要、モデリング、空間スキーマ、座標による空間参照、時間スキーマと時間参照、地理識別子による空間参照、一般地物モデルと応用スキーマ 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 2日目・7時間 ● 品質評価概論、メタデータ概論、空間データ仕様概論、空間情報のためのXML概論、XML Schemaの基礎、空間情報の符号化規則 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 3日目・4時間+試験 ● 空間スキーマ（点・線・面の作成）、時間スキーマ（瞬間及び期間の作成）、地理識別子による空間参照（地名辞典の作成）、作成した地理空間データの利活用 	
試験日	講習会最終日同日	
試験科目 【応用1】	試験形式	多肢択一式問題・25問出題 20問解答
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準に関する広範な知識 ● データ構造の設計に関する知識 ● 製品仕様書に関する広範な知識 ● データ作成に関する広範な知識 ● 符号化及びデータ操作に関する知識 ● 応用システムの設計・開発に関する知識
	試験時間	14時30分～15時30分（60分）
試験科目 【応用2】	試験形式	記述式（記述及び作図）問題・3問出題 2問解答・600字詰用紙各1枚計2枚
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要者要件に基づく製品仕様書策定に関する実技 ● スキーマの作成に関する実技 ● 応用システムの仕様設計に関する実技
	試験時間	15時30分～17時00分（90分）

上級技術者		
想定するレベル	未定（準備中）	
試験日	未定（準備中）	
試験科目 【高度応用】	試験形式（予定）	論述式（小論文）問題・3問出題3問解答・600字詰用紙各2枚計6枚・配点30点・持ち込みPCによる解答作成
	試験内容（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準に準拠したデータの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決についての実務経験に関する論述 ● 指定された条件で、地理情報標準に準拠したデータ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築に関する論述 ● 指定された条件で、地理情報標準に準拠した構築したサービスの安定的な運用に関する論述
	試験時間（予定）	13時00分～16時00分（180分）

【合格通知】

資格認定委員会が定める試験合格基準以上の成績を得て、認定審査に合格した受験者に合格証書を交付します。

5. 資格の登録

【登録証書】

地理情報標準認定資格（初級技術者、中級技術者、上級技術者）は、地理情報標準認定資格者名簿に登録することによって、正式に付与されます。

6. 資格の登録更新

資格登録後の資質向上のため、5年毎に下表の更新講習の受講により資格継続とします。

区分	講習日数	方法
初級技術者	0. 5日	インターネット講習
中級技術者	1日	講習会
上級技術者	1日	講習会

7. 講習会受講料と受験料と登録料

【講習会受講料と受験料と登録料】

各区分の講習会受講料・受験料・登録料は下表のとおりです。

区分	講習会受講料	受験料	登録料
初級技術者	15,750 円	7,350 円	5,250 円
中級技術者	52,500 円	10,500 円	5,250 円
上級技術者	なし	31,500 円	5,250 円

* 消費税込

* 受講・受験資格の書類審査の結果通知後に納入してください。

【更新講習の受講料と登録更新料】

更新講習の受講料、及び登録更新料は下表のとおりです。

区分	講習会受講料	受験料	登録料
初級技術者	5,250 円	なし	3,150 円
中級技術者	15,750 円	なし	3,150 円
上級技術者	15,750 円	なし	3,150 円

* 消費税込

* 受講申し込み時に納入してください。

8. 詳細についての問い合わせ先

公益財団法人 日本測量調査技術協会 講習・試験委員会

住所： 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-40-11 看山ビル 9 階

電話： 03-3362-6840

FAX： 03-3362-6841

HP：<http://www.sokugikyo.or.jp>

Email：s-gi-cert@sokugikyo.or.jp

以上

本案内は予告であり、修正される場合があります。予めご了承ください。

(別表1)

講習会受講免除の対象研修一覧
 (公益社団法人 日本測量協会 地理空間情報専門技術認定)

専攻領域	認定課目 (級別)	備考
地理情報	GIS (2 級)	認定登録者または全科目の合格者
	GIS (1 級)	認定登録者またはⅡコース (3. 標準化、及び 4. 製品仕様) の科目合格者

講習会受講免除の対象研修一覧 (国土交通大学校)

年度	研修名
平成 17 年度	専門課程 地理情報標準研修
平成 18 年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 高等測量研修
平成 19 年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 高等測量研修
平成 20 年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 公共測量企画
	専門課程 高等測量研修
平成 21 年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 公共測量企画
	専門課程 先端測量科学技術 (地理空間情報) 研修
	専門課程 高等測量研修
平成 22 年度	専門課程 公共測量研修 (全期間コース)
	専門課程 公共測量研修 (地理情報標準特化コース)
	専門課程 高等測量研修
平成 23 年度	専門課程 公共測量研修 A 日程 (公共測量実務コース)
	専門課程 公共測量研修 C 日程 (地理情報標準コース)
	専門課程 公共測量研修 D 日程 (指導・助言コース)
	専門課程 高等測量研修
平成 24 年度	専門課程 公共測量研修 (中級コース)
	専門課程 高等測量研修
平成 25 年度	専門課程 公共測量研修 (中級コース)
	専門課程 高等測量研修